

報道関係者各位(参考情報)

2022年11月11日

ファンケルグループが「PRIDE指標 2022」で ゴールド賞を受賞

ファンケルグループは、職場におけるLGBTQなどのセクシャル・マイノリティ(以下、LGBTQと表記)への取り組みに関する評価を指標に定めた「PRIDE指標 2022」において、ゴールド賞を初めて受賞しましたことをお知らせします。



PRIDE指標とは、「企業等の枠組みを超えてLGBTQが働きやすい職場づくりを日本で実現する」ことを目的とした任意団体「work with Pride」による評価指標です。日本初の職場におけるLGBTQに関する取り組みを評価する指標で、2016年からは表彰制度がスタートしています。

PRIDE指標は、5つの指標でLGBTQへの施策を評価するもので、総合的にゴールド、シルバー、ブロンズの3段階で表彰されます。当グループは、一昨年からエントリーを行い、今年初めてすべての指標で高く評価されてゴールド賞の受賞となりました。

*「PRIDE指標」の詳細 <https://workwithpride.jp/pride-i/>

【各指標における評価概要】

◆「P o l i c y」(行動宣言)

- ・企業サイトで「ダイバーシティ&インクルージョン」における会社の姿勢を明言。
- ・全従業員に配布している冊子「私のコンプライアンス手帳」にて、LGBTQ等への差別禁止を明示。
- ・6月のPRIDE月間に合わせて当社の情報サイト「FANCL CLIP」で、LGBTQ+に関するさまざまな取り組みを配信。

◆「Representation」(当事者コミュニティ)

- ・従業員による“アライの会”を設立し、4月に活動本格スタート。主要メンバー15人による定期ミーティング、研修、全社朝礼などを通じてLGBTQなど性的マイノリティの方の理解を促進。

◆「Inspiration」(啓発活動)

- ・毎年LGBTQの理解促進について研修を実施するほか、全従業員向けのSOGIハラスメントについてオンライン研修も実施。性的指向や性自認による差別について、つい言ってしまうがちな発言集なども作成し、注意喚起を図る。
- ・新入社員の入社研修時にLGBTQ+に関する講義を実施している。
- ・アライの会主要メンバー向けに、当事者講師をお招きしたLGBTQへの理解を深める研修の実施。

◆「Development」(人事制度、プログラム)

- ・2022年4月に、「パートナーシップ規程」を新設。事実婚・同性婚においても、法律婚と同様に育児休業、慶弔見舞金の支給など各種福利厚生制度を適用することで、従業員がより働きやすい環境を実現。

◆「Engagement / Empowerment」(社会貢献 / 渉外活動)

- ・従業員の寄付活動「もっと何かできるはず基金」や旗艦店であるファンケル 銀座スクエアでSDGsイベントを開催し、館内のカフェメニューの売り上げの一部を認定NPO法人「虹色ダイバーシティ」への寄付。

本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先

株式会社ファンケル 広報部 陣内真紀

TEL:045-226-1230 FAX:045-226-1202 / <https://www.fancl.jp/>